

S&Uだより

safety & useful 発行 No336

2025年11月10日

(株) マルジン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

長かった蜜月時代が終わり 公明党が10月10日、自民党の高市早苗新総裁に対して連立政権からの離脱を申し出て、野党時代を含めて26年に及んだ協力関係に終止符を打つことになりました。自民は単独少数与党に陥り、臨時国会での高市氏の首相指名に暗雲が垂れ込めるだけでなく、公明の支持母体である創価学会の組織票に依存してきた国会議員たちの次期選挙での大量落選が避けられない事態となりました。自民が公明から一方的に「三行半」を突きつけられたようにも見えますが、最初に離別を望んだのはむしろ自民の方だったという話です。

「高市体制誕生の立役者で自民の実質的な最高指導者となった麻生太郎元首相が、総裁選後に『公明にくれてやっける国土交通相のポストは引きはがせ』と周囲に語ったことが公明に波紋を広げたとされています。

国交省は巨額の公共工事を取り仕切るので大臣ポストはうまみが大きいのに、2012年から公明にその椅子を明け渡しているのが我慢ならなかったらしいです。ただでさえ麻生氏は公明嫌いで、一度も推薦を受けたことがないそうです。国民民主党を政権に引き入れることで公明を切り捨てようと考えていました。85歳を迎えて政治家人生の総決算をしたい麻生氏としては、目の上のたんこぶだった公明を追い出し、同時に創価学会との強いパイプで存在感を放つ宿敵の菅義偉元首相の影響力を削ごうとも考えたのでしょう。もちろん、自民にも痛みを伴いますが、まさに焦土作戦に打って出たわけです。自民幹部に公明にパイプのある議員を置かなかったのは、人事権を高市氏から一任された麻生氏の公明へのメッセージです。公明としても、麻生氏に絶縁宣言されて面目を失う前に自ら身を引いたという見方もあります。公明党は政権与党とはいっても全く主導権を握れず、自民の失言やスキャンダルが起きるたびに黙って見過ごす公明議員の姿に 党員は呆れていました。それでも創価学会池田大作名誉会長が音頭を取って始めたことなのでこれまで覆すことはできませんでしたが、2023年に亡くなったことで学会内部でも『自民とは縁を切った方がいいのでは』という声が聞こえるようになったようです。まして、平和の党を呼号しているのに総理がタカ派の高市さんなんてありえない。女性部からも『高市さんが日本初の女性総理になるのは認められない』という声が強く、連立が維持されていたとしても国会議員も首班指名で高市さんには投票しにくかったと いわれています。公明党に変わる野党との連立政権の維持を模索する自民党は 本命 国民民主党との連立を持ち掛けました。玉木氏は自民党の高市早苗新総裁との連立を模索する一方で、日本維新の会や立憲民主党との野党連携もおこなう、いわゆる「両天秤」的な動きを繰り返していました。玉木代表はキーパーソンとして 立憲民主党との野党連合で「次の首相候補」ともてはやされていました。が 支援されている「連合」の存在を無視することはできないから連立は組みづらい。かといって 首相指名選挙において 野党統一候補を擁立するのも 意見の隔たりが埋まらず お互いの「基本政策について埋めがたい違いがあることが改めて明らかになった」と決別宣言ともとれる考えを示しました。日本維新の会は 政策が違う点は「閣僚を出すのが覚悟なのか。僕は違うと思っている。大臣になりたいわけではなくて、政策実現のためにもっとも有効な方法はなにかという判断で考える」「本当に政策を実現したいんだったら、僕は、総理大臣の可能性が消えても、まず政策を実現する」という吉村代表の大きな賭けが あれよあれよという間に進み 全議員一丸でも過半数には届かない(2名)状況ではありますが「自民党と日本維新の会」との連立が合意しました。ただ、これまで自民党と連立を組んできた党は、公明党以外、ほぼ消滅の憂き目にあってきました。吉村代表は「(党の)消滅のリスクはあり得る。そのリスクを負ってでも日本のために挑戦すべきだ」と決めたとのことです。「玉木総理！」と声かけられてまんざらでもない映像がありましたが 思わぬ展開に新語までできたようです。“新語「玉木る」”意味: いいとこまで行くけど、最後に丸見えの地雷を周りから注意されても踏むこと・・・だそうです。連合に進んだ党も 断念した党もそして新たな枠組みで進んでいく日本も 今後この時を振り返り「あの時の選択は・・・」と どんな結果につながっていくのでしょうか? 「初の女性首相誕生」首相が女性ですから ご主人の山本拓氏は“ファーストジェントルマン”となるそうです。山本氏は福井県出身 今脳梗塞を患い闘病中ですが 外遊には基本同行せず「ステルス旦那」として健康面を度外視しないよう チェックしたりサポートしていきたい と言っておられるそうです。

マルジン 11月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	30	24	25	26	27	28
						29

<申し訳ございません、立て込んでおります>

マルジンは 只今、大変混みあっております。
ご依頼を頂戴しても「すぐに」というお話はお断りする場合も・・・！
申し訳ございませんが
余裕を持っての早目のご依頼を
今一度お願い申し上げます。

2025 年 11 月第 336 回は～マルジンモノレール新しい仲間～について

先月 新しい牽引車や台車のご紹介をいたしました。また今月も 改良型の運転台車が仲間に加わったご案内をさせていただきます。徐々に改良型が増えていきますので またご利用ください。

OP-1-50MA



OPA-1-50MA



← POINT! 座面改良・駆動輪変更

モノレールのタイプも軽量級から重量級まで 各種揃っております。
マルジン HP に 掲載しておりますので またご覧ください。

↓ 500k タイプモノレール

(株)マルジン

牽引車				
型式	MA600MSB-50	MB600MSB-50	MA500MSL-50	MB500MSL-50
全長×全幅×全高(mm)	995×630×875	1075×655×875	1070×696×948	1165×700×955
質量(エンジン共)	155kg	186kg	211kg	211kg
走行速度(m/min)	45m/分	通常ギヤ時 33-44m/分	通常ギヤ時 40m/分	通常ギヤ時 33-44m/分
エンジン	型式	三菱GB-300(PE)	三菱GB-300(PE)-210	三菱GB-300(PE)
	種類	空冷4サイクルエンジン	空冷4サイクルエンジン	空冷4サイクルエンジン
	定格出力	5.5ps / 3600rpm	5.5ps / 3600rpm	7.5ps / 3600rpm
	排気量	296cc	296cc	296cc
	始動方式	セル、リコイル併用	セル、リコイル併用	セル、リコイル併用
	使用燃料	無鉛ガソリン	無鉛ガソリン	無鉛ガソリン
タンク容量		6.0リットル	6.0リットル	6.0リットル
燃費	2.4リットル/時間	2.4リットル/時間	2.4リットル/時間	2.4リットル/時間
変速	前進・後進 各一段	前進・後進 各一段	前進・後進 各二段	前進・後進 各二段
最大傾斜角度	(エンジン取付角度22度調整時) 前進登坂45度 前進降坂10度	(エンジン取付角度22度調整時) 前進登坂45度 前進降坂10度	前進登坂・前進降坂 ともに45度	前進登坂・前進降坂 ともに45度
制御装置	(降坂) 遠心式ブレーキ (駐停車) 内括式ブレーキ (緊急) 摩擦式ブレーキ			
ローラー調整	偏芯式噛合調整			
伝達方式	エンジン⇒遠心クラッチ⇒Vベルト⇒ミッション⇒駆動輪			
駆動形式	ピニオン・ラック式			

※ 走行速度はメーカー参照で、荷物の無い状態での速度となります。

台車のバリエーション			
型式	最大積載量	長さ×幅×高さ(mm)	質量(連結器含)
T-5B 荷物台車	500kg	2070×620×680	105kg
T-8 長尺台車	500kg	3350～5550×710×860	150kg
OP-1-50MA(運転台車ブレーキ付)	運転者1名 500kg(荷物台車)	885×610×985	75kg
OPA-1(運転台車ブレーキ付)	運転者1名 500kg(荷物台車)	840×575×1015	86kg
OPB-2-50(乗用台車ブレーキ付)	2人乗り 500kg(荷物台車)	1710×560×1000	116kg
OPB-4-50(乗用台車ブレーキ付)	4人乗り	2580×655×1005	162kg
OP8 OPB-4-50(乗用台車ブレーキ付)×2台連結	8人乗り	「2580×655×1005」×2台連結	162kg×2台

レール			
型式	寸法(mm)	全長	支柱間隔
NKMLレール	50×50×3.2	3m	1m
	ラック19×4.5		